

ふれあい



彩光苑

所長 田嶋 襄

新年明けましておめでとございます。皆様におかれましては、令和に入り初の新春をお健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。また、当苑の運営につきましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

今年、介護保険制度が開始されて20年の節目を迎えます。この制度を維持発展するためには、いくつかの課題を抱えています。特に深刻なのは介護人材不足の問題です。近年は人材不足による介護事業所の倒産が増え続けています。このままの状況が続きますと、介護保険制度そのものの崩壊にも繋がりがありません。早期の改善改革が望まれます。

一方、今年はオリンピックイヤーの年でもあります。しかも56年ぶりの東京での開催です。自国での開催ですので、大きな期待や感動が今から待ち遠しい思いでいっぱいですし、楽しみが膨大するばかりです。

さて、令和2年の当苑は、第IV期中期ビジョンの2年目（中間の年）に当たります。今期のキーワード（テーマ）は、「人づくり」です。職員個々の「弱み」を解消すべく、自己研鑽に励んでいるところです。当苑が目指す「地域ナンバーワン」の施設づくりに、職員が高い技術と知識を有しワンチームとなつて、安全安心なサービスを提供すること、将来に亘り事業が継続発展することを目指しています。

2020年新年ご挨拶

同時に、当苑では、当法人の使命であります「施業救済」の理念に基づいて、昨年から「不登校」「ひきこもり」の人たちに手を差し伸べる活動を開始したところです。まずは、市教員委員会及び市内の小中学校と連携を取りつつ、対象者の支援に取り組むを開始したところです。

結びに、本年が皆様にとりまして良き年となりますようご祈念申し上げます。年頭の挨拶といたします。どうぞよろしくお願い申し上げます。

内牧クリニック

院長 前川勝治郎

明けましておめでとございます。皆様におかれましては、令和初の新年を健やかに迎えにいられたこととお慶び申し上げます。また、内牧クリニックは、お蔭さまで9回目の新年を迎え、昨年より更に多くの方が当クリニックを利用され、大変感謝申し上げます。

昨年1年間の当クリニックでの内視鏡検査の実績は、上部消化管が300件で前年度に比べて3件増、下部内視鏡検査は65件で、26件減でした。その中で悪性疾患は上部で1例、下部で1例が確認されました。市の特定健診受診者は629例で、その内の異常所見の指摘されたのは、肺23例、大腸（便潜血陽性）27例。また胃11例が指摘され、その内悪性腫瘍は2例（胃1例、大腸1例）が認められました。

当クリニックでの、インフルエンザ予防接種施行は、近隣の工業団地を含めて1128人でした。また、インフルエンザ罹患

者は、昨年の1月7日～2月25日に17人、12月10日～28日間に14人でした。いずれもA型で家族ぐるみの感染が多く、すべての事例がワクチン予防未接種の方でした。

また、近隣の人達とのふれあいの市民講座は、令和元年10月19日に栄町会館で「腰痛症」をテーマに講演をさせて頂き、多くの方が来て下さいました。有難う御座います。

今年、令和初の年で、干支も1番目の「鼠」です。ネズミはいたずら物として、あまり良いイメージはありませんが、こゝとわざと「鼠が塩を引く」という、ほんの少しずつ積み重なって大量になると言う意味もあります。1月13日（成人の日）朝のNHKテレビ「おはよう日本」の番組の中、20歳の脊髄損傷の男性が、両下肢麻痺の為、歩くと言ふ感覚がなく、リハビリの方が、初めの一歩が大切で、毎日の一歩一歩の訓練の積み重ねを行うことにより、徐々に歩けるようになって来たという内容でした。そういう意味でも、最初の一歩の勇気とその後の小さな積み重ねが大切な年だと思いました。

また、今年、日本では迎える2回目の東京オリンピック、パラリンピックの開催の年でもあります。特にパラリンピックは、肉体的な欠陥を乗り越え、頑張っている姿は、似たような病に苦しむ人達の励みになると思います。

これからも健康に気を付けて、皆様のご健康とご多幸を祈念し、これまでと同様に支援を賜りますよう宜しくお願い致します。

クリスマス会

彩光苑特養のなでしこグループでは、23日にクリスマス会が開催されました。最初に、カラオケ大会を行いました。得意な曲を熱唱する方や、嬉しそうに曲を聴いている方など様々な方がおられました。また、各グループのリーダーが、二人羽織を披露しました。二人で協力しながら、リーダーが熱いラーメンや、炭酸がいつぱいの飲み物、クリームたっぷりのケーキなどを食べました。必至に食べている様子がとてもおかしく、入居者の皆様はお腹を抱えて笑っている方もいらっしゃいました。

その後、おやつとしてクリスマスケーキを皆様でいただき、終始楽しく賑やかに過ごしました。

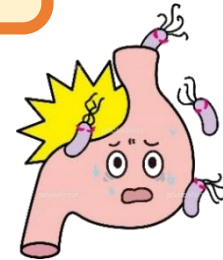
来年も、入居者の皆様が元気に楽しく過ごしていただけるよう、多くのイベントを開催したいと思います。



ピロリ菌って何だろう？

内牧クリニック 便り

ピロリ菌は、胃炎や胃潰瘍・十二指腸の原因の一つです。胃がんの発生リスクを高めるとも言われています。



胃内視鏡を受けて、ピロリ菌がいるのか調べてみましょう！
ピロリ菌に対しては、除菌療法があるので、医師と相談しましょう。
早期発見・早期治療です。

春日部市胃がん検診

実施期間 4/1～6/30

春日部市に申し込みを行い
ご予約ください

理念

私たちは、地域の人々のために、共に手をつなぎ、一人ひとりを大切に、安心して暮らせるように「福祉・医療・保健」を連携させたサービスを提供します

- 基本方針 -

特別養護老人ホーム 彩光苑（介護老人福祉施設・短期入所生活介護）

- ・家族や地域の人々とともに、高齢者の尊厳を守りつつ寄り添うケアに努めます
- ・利用者みなさまが、安全で安心して暮らせる環境を整えます

ケアハウス 彩光苑（軽費老人ホーム・特定施設入居者生活介護）

- ・利用者みなさまの声を大切に、いつまでも自立した生活が出来るよう支援します
- ・食事や入浴のサービスを通して、健康的な生活をささえます
- ・生涯にわたり、安心して生活を営むことができるサービスを提供します

内牧クリニック

- ・地域の人々の健康を願い、心のこもった医療を提供します
- ・誰もが気楽に集えるクリニックとして、健康相談を行います
- ・社会福祉法人のクリニックとして、生活困窮をかかえる方々の医療をささえます

彩光苑だより 第65号

ふれあい

発行 社会福祉法人 済生会

支部 埼玉県済生会彩光苑

〒344-0051

春日部市内牧3149

発行者 所長 田嶋 襄

編集 広報委員会

発行日 令和2年1月25日

豊春中央保育園運動会

春日部市内にある豊春中央保育園の職員と園児の皆さんが10月17日に来苑し、ケアハウスや特養の入居者様と運動会を通じて一緒に楽しみました。はじめに園児たちがお遊戯を披露すると、可愛い様子に入居者の皆様の顔が思わずほころびました。続けて玉入れや玉ころがし、鈴割りなど、入居者の皆様と園児たちが一緒に競技をおこないました。



スタートの合図と共に「がんばれー」の応援が飛び交い、入居者の皆様と園児たちが一体となり楽しく盛り上がりました。

最後に、豊春中央保育園の先生方と彩光苑職員の競走「ハリケーン2」を行いました。これは、ラグビーボールを二本の棒を使い二人の職員で運ぶ競走です。非常に盛り上がり、園児たちからも入居者の皆様からも笑顔が溢れました。

内牧文化祭（合唱）

彩光苑ケアハウスの入居者様17名が、11月17日に第30回内牧文化祭・芸能の部に出場しました。文化祭では、合唱を披露しました。文化祭での発表を目標に7ヶ月間練習を重ねてきました。持ち時間が15分であり、曲目は「みかんの花咲く丘」「リンゴの唄」「青い山脈」「もみじ」「上を向いて歩こう」の5曲を披露しました。

会場内のみなさまからは「福祉施設の入居者が参加するのは初めてだ」「感動しました」「頑張っている姿を見て勇気をもらいました」等の声を頂きました。来年も地域交流の一環として参加していきたいと思えます。



ふれあい広場

春日部市並びに春日部市社会福祉協議会主催の「市民福祉まつり・第三十四回ふれあい広場」が11月2日に開催されました。数多くの福祉団体が参加する中、彩光苑も出展しました。ふれあい広場は、市内の福祉団体等が出展し市民と交流を深める場です。今回は天候にも恵まれたくさんの方々が来場者でにぎわっていました。彩光苑のブースでは豚汁や観葉植物、入居者の皆様とボランティアで作成した陶芸品や、ケアハウス入居者様が育てた唐辛子を展覧しました。小さなお子様向けのお菓子詰め放題や輪投げも行い、家族みんなで楽しそうに袋いっぱい詰めていました。豚汁や唐辛子も完売し、多くの市民の皆様と交流しつつ彩光苑らしさを存分に出したのだと思います。



渥美二郎歌謡ショー



プレゼントコーナーでは、歌謡ショーへの感謝の気持ちとして、田嶋襄所長より地元内牧の名産であるキウイフルーツ及び柿が、入居者様の代表として萩原マツ様及び大槻榮様より花束が贈られました。アンコールもあり、大変盛り上がった歌謡ショーとなりました。その後、ケアハウスの入居者様と記念写真撮影を行いました。最後に入居者の皆様で、渥美様をお見送りさせて頂きました。前回の東光園の時代より、27年前から長年にわたって、慰問を続けております。大変感謝しております。入居者の皆様は、毎年来るのを楽しみにしております。今年も、渥美二郎様のご来苑を、心よりお待ちしております。



毎年恒例となっている「渥美二郎歌謡ショー」が、11月19日に開催されました。渥美二郎様は、毎年この時季になると彩光苑に来られ、今回で24回目の慰問となります。今回も渥美様の来苑を知り、入居者の皆様や職員が時間をかけて会場の飾り付けや応援グッズの作成を行いました。今年も、最初に新曲「永遠鉄道」を熱唱され、その独特のリズムに入居者の皆様も楽しそうに口ずさんでいました。その後「君恋し」「ダンスパーティーの夜」「東京ラブソニー」などの名曲が、渥美様の歌声に入居者の皆様も聴き入る様子でした。大ヒット曲の「夢追い酒」は、入居者の代表者とデュエットを行いました。デュエットをした方は「一緒に唄えて本当に良かった」と嬉しそうに話していました。



寿司奉仕

春日部鮎商組合の皆様が11月13日に来苑され、美味しい寿司を握っていただきました。鮎店主の皆様が寿司を握っている様子を見つ、入居者の皆様は笑顔で「早く食べたいねえ」「美味しそうだ」など話されておりました。入居者の皆様は誤嚥しないように、一口大に切り分けたりお粥のちらし寿司にしたりなどの工夫をして頂きました。入居者の皆様は、お寿司を食べられるとあって大変喜ばれていました。毎年、鮎商組合の皆様によるボランティア活動を、入居者の皆様は楽しみにしております。寿司奉仕に来て頂いた鮎店主の皆様、美味しいお寿司をありがとうございました。またのご来苑を、心よりお待ちしております。

